



## 問 物価高騰に係る市民への影響に対する市長の考えを問う

市民は、日々の買物で商品の値上げに不安を感じ、電気・ガス・ガソリン等の価格上昇にも負担を強く感じている。また、米価の上昇やスーパーから米がなくなる状況で市民の不安は増すばかりである。消費者物価指数が2～3%の上昇であったとしても、市民の実感としてはもっと上がっている。現在の物価高騰に対する市長の考えはどうか。

## 答 今後も国・県と連携して物価高騰対策に取り組んでいく

今の状況は、物価高騰の長期化というより常態化と感じている。そこで、何よりも必要なのは物価上昇を上回る賃上げであり、これを実現することで家計が結果として潤い、経済の好循環が生まれると考えている。

これまでも津市の独自支援として、生活応援商品券の発行や水道の基本料金の無料化など、約139億円を投じてスピード感を持って支援を積み重ねてきた。今後も国や県の動きを見ながらしっかりと連携し、物価高騰対策に取り組んでいく。

### その他の質疑・質問

- 物価高騰対策について
- 国の交付金を活用した今後の支援策について
- 市費負担による独自の支援策の考えは
- 物価高騰下における学校給食について
- 物価高騰が長期化する中、市の財政への影響は
- 市民に向けたデジタル社会の推進について

物価高騰により1食当たり362円となった中学校の米飯給食（令和7年9月10日撮影）



## 問 狭あい道路整備事業の現状と今後の方針を問う

「生活道路を広げてもっと住みよい津市に」をキャッチフレーズに狭あい道路整備事業が平成28年度にスタートしてから間もなく10年が経過する。

安全な道路の確保と緊急自動車などの通行に支障を来さないまちづくりのために同事業に取り組まれているものと思うが、まだまだ市内の至るところに狭あいな道路があることから、同事業の現状と今後の方針を問う。

## 答 国に要望を行うとともに、今後の方針の周知・広報に努める

同事業は国の社会資本整備総合交付金を活用し、幅員4メートル未満の狭あいな生活道路を解消するため、津市に用地を寄付しようとする方に測量・分筆・除却に要する費用の一部を助成し、その用地を整備するもので、令和7年度は申請受付開始日に予算額に達し、多数のキャンセル待ちが発生している。現在、配分が要望の7割程度にとどまっている交付金を満額交付するよう国に要望するとともに、令和8年度以降の申請受け付けにおいて一定の募集期間を設けることなどを検討しているところであり、後は申請受け付けの方法等を市民や事業者にとしっかりと周知・広報していく。

### その他の質疑・質問

- 応急クリニック年末年始体制強化事業について
- 具体的にどのような体制強化がなされるのか
- 獣害対策について
- 市単補助事業の状況、小動物の獣害対策は
- 教育施策と施設整備について
- 水泳授業について
- トイレの洋式化の推進について

安全で安心なまちづくりのためにも、狭あい道路の整備が進められている

